

連合自治会ニュース

令和4年度 第2号

発行日:11月17日

発行者:橋北地区連合自治会

橋北の先進的な取り組みを

全市へと広げたい

市長との地域づくり懇談会 開催 8/25

〈森市長の挨拶〉
経済活動とコロナ対策の両立

〈山内連合会長の挨拶〉
災害に強い 子育てしやすい
高齢者に優しい まちづくり

テーマ①「カーボンニュートラル」



ゴミ減量化の現状は
太陽光発電の問題点は？



一人ひとりで取り組む “地球温暖化対策”

デジタル化
の推進

電気自動車
電灯のLDE化

脱炭素化社会の
実現は身近な
ことから



テーマ② 認知症の人に やさしい まちづくり

75歳以上高齢者の
5人に1人が認知症

早期発見・予防が大切

「認知症カフェ」
通所サービスの展開

四日市市認知症フレンドリー宣言

- ◆認知症に関する正しい知識や理解を深め、認知症の人や家族の想いに寄り添った行動ができる応援者を増やします
- ◆認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の団体や企業などと連携し、みんなで見守り支え合える地域社会を目指します
- ◆認知症になっても、これまで積み重ねてきた経験などを活かしながら、役割と生きがいを持って、自分らしく暮らせるまちづくりを進めます

「認知症サポーター養成講座」
の全地区実施

※ 令和4年10月1日から
「もの忘れ健診」が
始まりました。



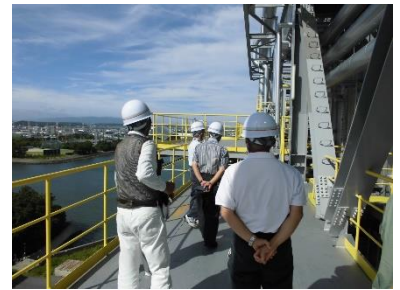
認知症の人にやさしい
まちづくりは、橋北から

中部電力バイオマス発電所の視察

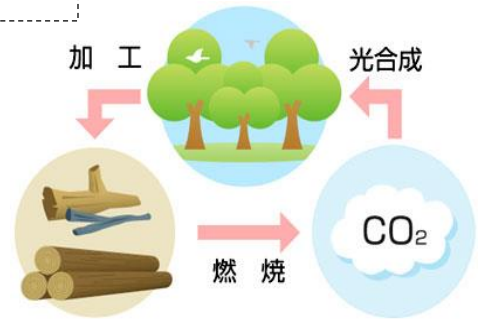
9月20日、台風一過の青空のもと、やや強い風は吹いたものの連合自治会の研修視察として、バイオマス発電所を見学しました。バイオマス発電は、燃やしてもCO₂の増減に影響を与えない「カーボンニュートラル」という発想で作られています。木くずや燃えるごみを燃焼する際の熱を利用して発電します。四日市発電所では、「木質ペレット」（木くずを固めたもの）と「パーム椰子殻」（ヤシの実から油を搾った後の殻）を利用しています。

年間発電量は一般家庭12万世帯分、地球環境にやさしい再生エネルギー開発の一環として設置されています。

連合自治会は、今後も環境、福祉、人権等、持続可能な社会の実現を目指した研修に取り組みます。



地上15mから見る四日市港



住民のための
自治会

住民の
住民による

ささえあう

子どもから高齢者まで安心して生活できます

ふれあう

様々な行事を開催し住民同士の交流が深まります

つたえる

広報誌や回覧板で地域の情報をお知らせします

橋北
住みよい街

まもる

避難訓練や防犯パトロールの実施で安全な街をつくります

きれいにする

ごみ集積場の維持管理や道路・公園の清掃活動で快適な環境をつくります